

鎌ヶ谷市施策評価表(事後)

施策No.332

記入日 平成25年 8月 6日

点検日 平成25年 8月 9日

施策名	魅力ある商業の育成	施策担当マネージャー	市民生活部次長	マネージャー氏名	山中 冬樹	内線	203
政策展開の基本方向	3 「躍動感と魅力あふれる交流拠点都市」をめざして	政策	3.3 活力ある産業を育成します				
関連計画・根拠法令等	①鎌ヶ谷市総合基本計画 ②鎌ヶ谷市補助金等交付規則 ③鎌ヶ谷市商工業振興補助金交付基準 ④鎌ヶ谷市ふるさと産品協会規約						

1. 施策の目的・成果	(1) 施策の対象(誰を、何を対象としているか。範囲は。)	商工業団体																																																																						
	(2) 施策の意図(対象をどのような状態にするのか)	商工会等に対する補助金等の交付を通じて商店街の発展振興を支援することにより、魅力ある商業の育成がなされ、市の賑わいに繋がる。																																																																						
	(3) 施策の成果	<table border="1"> <thead> <tr> <th>指標名</th> <th>単位</th> <th>平成21年度実績</th> <th>平成22年度実績</th> <th>平成23年度実績</th> <th>平成24年度実績</th> <th>目標値 (目標年度27年度)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">施策</td> <td>年間商品販売額</td> <td>千万円</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>8,700</td> </tr> <tr> <td>小売業における売り場面積</td> <td>m</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>90,400</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">基本事業</td> <td>商店数</td> <td>店</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>630</td> </tr> <tr> <td>商店会数</td> <td>件</td> <td>15</td> <td>15</td> <td>16</td> <td>16</td> <td>13</td> </tr> <tr> <td>鎌ヶ谷情報ナビ登録件数</td> <td>件</td> <td>504</td> <td>516</td> <td>516</td> <td>516</td> <td>600</td> </tr> <tr> <td>空き店舗情報公開件数</td> <td>件</td> <td>12</td> <td>12</td> <td>24</td> <td>24</td> <td>50</td> </tr> <tr> <td>ふるさと産品認定件数</td> <td>件</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>5</td> <td>33</td> </tr> <tr> <td></td> <td>観光入込客数</td> <td>万人</td> <td>28</td> <td>25</td> <td>24</td> <td>19</td> <td>30</td> </tr> </tbody> </table>						指標名	単位	平成21年度実績	平成22年度実績	平成23年度実績	平成24年度実績	目標値 (目標年度27年度)	施策	年間商品販売額	千万円	-	-	-	-	8,700	小売業における売り場面積	m	-	-	-	-	90,400	基本事業	商店数	店	-	-	-	-	630	商店会数	件	15	15	16	16	13	鎌ヶ谷情報ナビ登録件数	件	504	516	516	516	600	空き店舗情報公開件数	件	12	12	24	24	50	ふるさと産品認定件数	件	0	1	1	5	33		観光入込客数	万人	28	25	24	19
指標名	単位	平成21年度実績	平成22年度実績	平成23年度実績	平成24年度実績	目標値 (目標年度27年度)																																																																		
施策	年間商品販売額	千万円	-	-	-	-	8,700																																																																	
	小売業における売り場面積	m	-	-	-	-	90,400																																																																	
基本事業	商店数	店	-	-	-	-	630																																																																	
	商店会数	件	15	15	16	16	13																																																																	
	鎌ヶ谷情報ナビ登録件数	件	504	516	516	516	600																																																																	
	空き店舗情報公開件数	件	12	12	24	24	50																																																																	
	ふるさと産品認定件数	件	0	1	1	5	33																																																																	
	観光入込客数	万人	28	25	24	19	30																																																																	

2. コストの推移	年度	単位	平成21年度 決算	平成22年度 決算	平成23年度 決算	平成24年度 決算見込み額	平成25年度 予算額	目標年度(年度) 今後の計画総額
	コスト・指標	千円						
	(1) 総事業費 自動計算	千円	32,691	24,688	21,947	21,124	25,969	0
	① 国庫支出金	千円						
	② 県支出金	千円	12,000					
	③ 市債・その他財源	千円						
	④ 一般財源	千円	20,691	24,688	21,947	21,124	25,969	
	(2) 総所要時間(0.5単位) ①+②+③ 自動計算	時間 /年	3,030	3,150	3,650	4,760	0	0
① 正職員(時間内)	時間 /年	2,900	3,000	3,300	3,100			
② 正職員(時間外)	時間 /年	80	100	300	1,660			
③ 非常勤職員	時間 /年	50	50	50				

3. コスト説明	(1) 市民一人あたりコスト	円	19	(2) 全施策中の順位	この施策は、全42施策中	33	番目にコストをかけています。
----------	----------------	---	----	-------------	--------------	----	----------------

4. 環境分析	(1) 過去5年間で施策を取り巻く環境はどのように変わったか	大型店の進出や後継者不足、生活形態の変化等により、商店を取り巻く環境は厳しさを増している。	(2) 今後施策を取り巻く環境はどのように変わることが予想されるか	今後も商店を取り巻く環境は、厳しい状況が続くものと思われる。
	(3) 施策について市民や議会の意見(市民意識調査、個別要望・意見等)	事業者や議会から商工業の振興施策について、強い要望がある。	(4) 国・千葉県の方針並びに関係法規等の変化	中心市街地などの商店街の活性化を図る施策が整備された。

5. 施策を構成する事務事業の状況※施策中優先順位順に記載	優先度	事務事業名	担当課							
	-	商工業振興に要する経費	商工振興課							
	-	観光振興に要する経費	商工振興課							

※事務事業数が2以下の場合には優先度評価をしておりません

6. 評価・検討	(1)行政関与の妥当性	3: 高い	(理由)なぜ、市が関与する必要があるのか？市民等との役割分担は適切か？ 商店会等の発展振興を支援することは、商店会の繁栄だけでなく、市の賑わいや魅力あるまちづくりに重要なことである。
	(2)目的妥当性	3: 高い	(理由)施策の目的は政策にどのように結びついているか。 商店会等の発展振興や賑わいのあるまちづくりに寄与している。
	(3)公平性	3: 高い	(理由)対象は偏っていないか？対象を広げたり狭めたりできないか？ 全ての商店会等を対象としているため公平である。
	(4)有効性	3: 高い	(理由)この施策を廃止した場合支障があるか。同じ目的を持つ他の施策はあるか？さらに成果指標を伸ばせないか？ 施策を廃止した場合、商店会等の活性化が図れなくなり、賑わいのあるまちづくりに支障をきたす。
	(5)効率性	3: 高い	(理由)コストがかかりすぎているか？どうしたらコスト、所要時間を縮減できるか？ 商店会等の自助努力により、商店会等が発展すればコスト削減が図れると思われる。
	(6)総合評価	6. 精査・検証	(今後の方向内容) 市の賑わいや魅力あるまちづくりのため、今後とも支援したい。

7. 改革・改善案	(1)改革・改善の方向	商店会等の自助努力による商店会の発展が図られるよう支援したい。
	(2)改革・改善案の概要 ※指標改善の根拠とコストを示す	商店会等と意見交換を行い、市補助金のより一層の効果的・効率的な交付に努める。
	(3)改革・改善案の問題要因と克服策	店主の高齢化と後継者不足。
	(4)改革・改善案導入の考え方 ※施策担当マネージャー所感	商店会等に、商業の活性化に係る研修会や、国及び県の補助金制度等のより一層の情報提供を行うことで、商業の活性化に係る知識の醸成及び活動資金の強化を図る。

8. 成果とコストの方向性	成果の方向性	向上			
		維持		○	
		低下			
		縮減	維持	増加	
コストの方向性					

成果とコストの方向性に関する説明

商店を取り巻く状況は引き続き厳しいため、コストと成果は現状維持としたい。

※評価検討(1)～(5) 1: 低い、2: 普通、3: 高い、4: あてはまらない
 ※総合評価検討(6) 1: 終了、2: 廃止、3: 休止、4: 縮小、5: 改善、6: 現状維持、7: 拡充
 1 終了: 事業が完了したので、終了する 2 廃止: 事業を廃止する
 4 縮小: 好ましくない状況なので、規模を縮小する 5 改善: 事業実施方法等について、改善した上、継続する
 7 拡充: 重点的に資源を配分し、規模を拡大する 3 休止: 再開を前提に休止する
 6 精査・検証: 精査・検証の上、継続する